

保護者説明・報告会（久世地域の園整備について）
会議録（令和5年9月8日 久世エスパスセンター会議室・研修室）
【出席者 保護者：26名 傍聴者：3名 事務局3名】

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 久世地域における園整備について（方向性報告）
事務局より説明

4 質疑
（保護者）

真庭市全体の保育環境を持続可能な状態で維持・確保するため、市全体での将来的な園児数の推移とそれに応じた職員の確保、また財政面などの観点にも配慮するということであるが、真庭高校久世校地の利用検討は、その建物を活かすことになるのか。

（事務局）

これから庁内で検討をしていくが、更地に整備はいると思うが、建物を活用するのではなく新たに園専用のもを建てたいと考えている。

（保護者）

プールの利用について以前は歩いて市民プールや小学校のを借りていたので、近くで危険とは思わなかった。小さい頃から水になれることは大事なことだと思うので、プールを併設することはできるか。

（事務局）

これからの議論になると思うが、現在、市内の園で専用プールを整備できている園はなく、小学校のプール等を活用している。ご要望があることは受け止めつつも、今の段階でプールを建設すると言える状況ではないことをご理解をいただきたい。

（保護者）

久世保育園に在園しているが、次年度の入園申込で私立園を希望した場合、私立園に入れるようになるか。

（事務局）

私立園を希望された場合は、今年度限りになるが優先して調整させていただく予定である。

(保護者)

他の公立園を選んだ場合は、入園できない可能性があるか。

(事務局)

それぞれのご家庭の状況の優先度合いを、入園調整にあたって点数付けをさせていただいて、調整をさせていただくことになる。

(保護者)

真庭市側の都合で園が変更になるが、私立園を選んだ場合の入学金、制服、備品等の初期投資にかかる費用に対する補助金支給や、備品の調整をやってもらえるか。

(事務局)

補助金支給は考えていません。

(保護者)

新たな公立の認定こども園の給食調理室の規模は、久世こども園、米来こども園、草加部幼稚園の給食を賄える規模とし、3園への給食は、新たな公立の認定こども園から搬入する点については、メリット、デメリットがあると思うが、これをする事によって、制度的に0歳、3歳未満の受け入れができるか。

(事務局)

3歳未満の園児をすぐに受け入れるような施設の構造になっていないので、その準備が必要になってくる。

(保護者)

そこを準備することは可能か。給食の集約によって、例えば小規模園は、整備をしなくてもよい可能性が高くなるか。前提として、3歳未満を受け入れを増やす話だと思うので、新たに私立園や小規模園を増やすのか、そこまで見越して受け入れを考えた集約なのか。

(事務局)

定員については、全体の受け入れ施設は一定充足している。こども園に部屋の活用として、3歳未満児に割り当てることについては、物理的、ハード面でも手を入れなければならない。新しい公立園の設置も含め、定員のあり方の検討が必要である。

(保護者)

草加部幼稚園にも選択肢、利便性が広がればいいと思いつた。もしそういうことが可能であれば、検討に入れてもらいたい。

(事務局)

草加部幼稚園は学校と一体的な建物であり、構造上広がりを持たせられるような施設になっていない。施設の改修がなければ運用面だけでの工夫では難しい。

(保護者)

久世保育園の在園児は、次年度私立園を第一志望にした場合は優先という先ほどの説明は、評価のようなものに何か加点のようなものがあるのか。

(事務局)

基本的には、入園調整の中で入園いただけるように調整をしたい。

(保護者)

民間保育園の在園児が、新たに他の園に移る場合も優先されることになるのか、あるいは、そもそも優先っていうこと自体が違ったことなのか。公立園から、私立こども園に移動する場合のみの優先というのはどういう意味か教えてもらいたい。

(事務局)

各園については、継続してそこを希望されたい方が一般的ですので、調整できるとすれば、これから新しく入ろうとする私立園でしか調整ができないと思っている。

(保護者)

久世保育園、北町公園での環境がとても素晴らしいと思えばそこに入れたい人や、継続して公立園に通わせたいという人もいる。そういった人の、継続性は優先させずに立地のみその優先の加点みたいなことになるのがピンとこない。そもそも優先なんかなくてもいいと思う。再検討はあり得るか。

(事務局)

入園調整等については、持ち帰ってご意見に対する検討をする。

(保護者)

優先順位とか、備品の購入は検討してほしい。久世保育園と久世第二保育園を集約して、新しい園を真庭高校跡地を更地にして建てる方向で進めていくんだと思うが、建てるのにもお金がかかる。久世保育園の立て替えにできなかったのか。

(事務局)

その場所で建て替えというのは、今の園のような規模にはならないと思うので、駐車場の問題であるとか、色んなことを含めて新しい場所を考えている。備品的なことは、細かいところまで全部熟知できていないが、基本的に、今お使いのものができるだけそのまま活用していただけるようなお話を新しい私立園の方はされていたかと思う。負担が過度に増えるのかどうかは確認がいる。

(保護者)

川遊びとか、田んぼに行ったり、地域の人とずっと縁がありよくしてくれていた。新しい私立園に移ってそういうのもなくなったら、何よりも、周りの近隣住民の方たちが、寂しがると思う。

(事務局)

公立園を皆さんが愛着を持って大切に思っていたいて、本当に現場の保育士のこれまでの長い歴史の、頑張ってきてくださったおかげである。そういった声を聞かせていただき本当にありがたいと思っている。色々な仕組みを全て集めて真庭市内の保育環境が出来上がっており、新しく私立の園ができて、地域との結びつきができて皆さんに愛される園になっていくことが、私立であっても必要になってくると思う。

(保護者)

久世保育園から変わらざるを得ない状況になるので、前例がない状態だと思うので、持ち帰って検討される時に、久世保育園、第二保育園は本来ならば、両方とも一気に潰して、新しいの建てるのであれば補助とかはいらぬとは思いますが、今回、片方だけ先についてということなので、検討していただけたらと思う。

(事務局)

新しい私立園に行っていく際に、どのぐらい負担が増えるか確認する。

(保護者)

今日いただいたこの説明で、おおむねは納得できた。ここに至るまでに、疑問や不信感など混乱があった。新しい私立園に対する不安と、真庭市の事業全体の進め方に対する不安感、不信感との2つに分かれると思う。新しい私立園の説明会があり、実際働かれてる方の非常に熱意を自身で感じた。こういう事業者の方がされるんだったら、よいこども園を作られるんだろうと非常に納得ができた。真庭市の事業全体の進め方は、もっと早い時点で提示していただきたかった。人の情の部分置きざりにして話を進めず今後活かしていただけたらと思う。

(事務局)

今日お示したこの方向性が進んでいくことになる。進め方は今後、皆さんに対しても丁寧に進めていきたい。

(保護者)

優先に関しての記載がここには全く書かれていないが、検討した結果の報告はいつ頃いただけるか。

(事務局)

園利用案内に記載をさせていただくので、その記載の部分でご確認をいただきたい。

(保護者)

希望の園に入れなかった子どもも待機児童である。現状を把握し新しい園でどれくらいの規模の園が必要か、いろいろな人の意見を聞いて将来を見据えた園を造ってほしい。

(事務局)

市内でも人口が集中しやすいところ、それ以外の周辺部は減少が早い状況もある。子ども真ん中を掲げてやっているところであり、皆さんのご意見をお聞きしながら進めていきたい。

(保護者)

2、3年ぐらい前から子ども・子育て会議ができる前から公立園が優先されるべきではないかなど検討が続いていたにも関わらず、私立園の話しありきで進めてしまったと思わざるを得ない。

(事務局)

民間園がなかった地域で、民間活力を活用していくということも1つ、前向きに捉えていける部分もある。

(保護者)

そもそもは全然認識が違っていて、公立保育園を老朽化で廃園より、建て直すのが普通である。民間ありがたいことに手を上げてくれというのには違和感がある。

(保護者)

令和8年度以降をできるだけ早期に適切に、速やかに、地域の人に話を聞いて、素晴らしい園を造って欲しい。

(事務局)

候補地として1つのものを決定をしたということの中で、そこに向けて全力で動いていく。今回のことを教訓にしながら、手順等も含めながら進めていきたいと思っているので、ご理解いただきたい。

5 閉 会